

令和5年度大阪府立吹田東高等学校

第2回学校運営協議会

日 時：令和5年12月5日（火）

場 所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長
	和田 大志郎	吹田東高等学校 後援会会長
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	佐伯 勇	甲南女子大学教授
校長	東 知佐子	吹田東高等学校
事務局	松本 厚史	吹田東高等学校 教頭
	岡本 秀樹	吹田東高等学校 事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	山室 裕	吹田東高等学校 首席

◆学校長挨拶

◆議 事

【報告事項】

(1) 生徒による授業アンケート結果について（東校長）【資料①-1～資料①-4参照】

○実施時期，方法の説明

- ・第1回は令和5年7月20日実施、マークシート方式。
- ・令和元年より質問項目は同じ。
- ・アンケート結果はフリーアンサーも含め全員に返却している。
- ・自身の数値やフリーアンサーに記載された意見について分析し、進捗面談にて校長と振り返りを実施。

○結果分析の説明

<学校平均>

- ・令和元年度より大きく値が向上し、令和2年度にさらに向上した。令和3・4年度はさらに若干上回り、令和5年度は令和3年度の数値程度に落ち着いた。
- ・学校目標である全体平均3.3以上、生徒意識の平均3.2以上を達成することができた。
- ・近年の高評価はICTの活用や多面的な評価等が結果に繋がっているように見受けられる。
- ・教員間の結果の差が開く傾向が出てきている。
今年度より本校で勤務されている先生方や、非常勤講師の先生方の数値が低めに出る傾向にあったが、生徒や教員にとっての「慣れ」の問題もあり、組織的な対策も含め検討していきたい。

<教科ごとの数値>

各教科別の分析結果の報告。

- ・今まで実技科目に比べ、座学科目は高評価を得にくい傾向にあったが、今回は差が小さくなっている。

○今後の予定

- ・中間考査後より、公開授業週間を実施し、各教員が他の授業を見学し、「授業見学シート」を提出。教科を越え相互に見学・評価をし、授業改善の意識を高める。
- ・LGH（リーディングギガハイスクール）として8名の教員の外部への公開授業を実施、他校・府教委・府内市教委・中学校等から6名の見学があった。
- ・管理職は、授業見学後、面談等で各教員に指導・助言を行う。
- ・第2回アンケートは12月22日に実施し、第1回と比較する。

Q 委員 令和3年度の数値に戻っていると思う。
過去の数値は1、2回の平均値になっているが、今回は1回目の数値になっている。過去の1回目の数値と比較した場合はどうなるかと思った。

A 例年このような比較になっているので次年度以降は1回目の比較にしたいと思う。

(2) 令和5年度学校経営計画の進捗状況について（東校長）【資料②参照】

○本年度の取組内容及び自己評価について

・各中期的目標における自己評価の進捗状況（資料②）の説明

Q 委員 デジタル採点とはどのようなものか。

A 答案をスキャンして、パソコンの画面に映して採点する。小計や合計の計算や、記号も読み取って採点してくれる。

デジタル採点に合わせた問題作成になってはどうかとは思っている。

Q 委員 現時点での自己評価がされていない項目があるが、なぜか。

A 2（5）「成績不振による原級留置者0人」については、現時点では未定。

3（3）「担任に気軽に相談できる」「担任以外にも気軽に相談できる」についての数値はアンケート結果がまだ出ていない。

(3) LGH（リーディングギガハイスクール）校の活動について（山室首席）【資料③】

○背景

・本校は今年度より3年間リーディング GIGA ハイスクールアドバンス校に認定され、他の学校の教員と情報を共有するため、公開授業を実施することになっており、別紙の通り11月15日と17日に実施した。

○LGH 校としての公開授業の条件

・複数教科で複数日を設定、府立高校および府内の小中学校への公開
・内容は一人一台端末や電子黒板をかつようした授業の実践研究および事例

○備考

・LGH 校の公開授業として外部の来校者を含めた研究協議はおこなわず、校内の研究協議として共有会を2回設定した。

委員 他校の公開授業を見学した教員からは中学校の方が進んでいるという意見もあった。

授業以外の使用では、吹田市の小中学校で11月からデイリー健康観察が導入されており、生徒たちが今の体調や気持ちの変化等を入力する。直接訴えられない生徒を救う目的である。

Q 委員 外部の来校者を含めた研究協議をおこなわなかった意図や経緯は何か。

A 公開授業を5・6時間目に設定しており、放課後まで残らないのではということや、外部の方が少人数のため、5・6時間目の休憩時間を15分間設定し、その時間に担当教員に個別に直接質問や感想等をいただき、フィードバックをおこなっていた。

(4) スクールミッション・スクールポリシーについて（東校長）【資料④】

○グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについて

・アドミッション・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの表現が異なる部分があるが、先にアドミッション・ポリシーを設定したためであり、来年度は合わせる。

(5) 創立50周年記念事業について(松本教頭)【資料⑤】

○記念式

- ・日時：令和5年12月16日(土) 13:00～
- 会場：吹田メイシアター 大ホール
- ・第1部 記念式典
- ・第2部 記念行事

○記念誌

- ・刊行部数 2000部

○記念品

- ・マフラータオル 2000本

○施設整備事業

- ・体育館更衣室リニューアル
- ・体育館舞台照明リニューアル
- ・体育館暗幕取り換え

◆諸連絡

次回(第3回)の日程を1月23日、2月2、6、7、22日で調整する。